

アイザック「SIGNAL BEET」

正確に地震をお知らせ
位置情報から震度予測

浜崎社長



アイザック(大阪市中央区)は、緊急地震速報サービス「SIGNAL BEET」を提供している。パルタックの高槻物流センターなど、大手物流事業者にも導入されている同サービスについて、浜崎重孝社長に話を聞いた。



放送設備と連携(提供写真)

テレビやラジオ、携帯電話の地震速報アプリなどで使われている情報は、気象庁が提供しているものだが、同社長は「関東地方」や「関西地方」など、あくまで広域での予測。さらに、速報が来ても揺れない、あるいは揺れた後に速報が来るケースも多い」と指摘する。

これに比べ、体に感じない震動の「P波(初期微動)を解析し、揺れが来る前に推定震度や猶予時間を通報する同社のサービスは正確性が特徴。「設置場所の緯度経度をもとに情報を割り出すため、予測の正確性には自信がある。500メートル

テレシユごとの地震増幅率のデータベースを持っており、地震が平均よりも固い・柔らかいといった要素も加味した上で割り出すことができる」という。「システムが作動すると、地震はまず来る」とも。10年にリリースされた同サービス。当初、マーケットの反応は鈍かったというが、「東日本大震災以降、在庫がなくなるほどの反響をいただいたという。機器の制御を他のシステムと連動させることも可能。地震後に停電が発生すると閉じ込められる可能性があるため、エレベーターの自動停止システムとの連携を推奨。「地震発

生時には、安全で避難経路を確保することが重要」と付け加える。また、「工場や倉庫には常に震動や騒音があり、地震かどうか分からないケースもあるので、パトライトを付け、現場スタッフに地震発生時の認知を促す企業が多い」とも。

さらに、警備会社の日本パナユーズ(大阪市港区)との連携により、365日24時間問わず、人によるシステムの保守管理を実施。機器や通信状況に問題があればアラートが鳴り、即座に警備会社のスタッフが連絡してやる仕組みとなっている。

価格は、初期設定費

用が23万8000円(工事費除く)。月額配信料が1件1万2000円(利用料、保守料含む)。

作動する震度の設定もでき、訓練モードも搭載。パトライトやスピーカーとの接続も自由ができる。浜崎社長は「たとえば、和歌山県沖が震源だった場合、『大阪に到達するまでに1分』というところが分かれれば、その1分の猶予時間に何らかの行動が起これる」と対策の重要性を訴える。

同社HP <http://www.isaac.co.jp/>
(大西友洋)